

1. 授業の概要(ねらい)

「論理的思考」というと、一見、難解そうで、とっつきにくい印象を与えます。しかし、要は理詰めでものを捉えたり考えたりするということ、それを分かりやすく筋道を立てて文章や口頭で表現するということです。

そうした力を蓄えてもらう1つの手段として、受講生に関心のある社会・政治・経済・国際の事象を取り上げて、それに関する新聞記事などを読んでもらい、事柄の要点や問題点を的確につかんだうえで簡潔に言い表してもらいます。

物事を正確に、合理的に捉えたうえで、自分なりの考え方をまとめる習慣や力をつけてもらうのが狙いで、受講生には、質疑応答の形で意見の表明も頻繁に求めます。授業の一部は日本語の語彙を増やす時間にも充てます。

短く平易な英文を的確な日本語に置き換える授業を隔週一回、行うクラスも1つ設けます。英語は非常に論理的な言語なので、英文を読みこなすうちに徐々に論理性が養われていき、邦訳する作業を通じて日本語の表現力もついてきます。

2. 授業の到達目標

理にかなった捉え方ができるようになること、ポイントを的確につかめるようになること、そして、それらについて筋の通った表現ができるようになることに主眼を置きます。

3. 成績評価の方法および基準

自宅で作成して提出する小論・課題や授業内でまとめるコメント(・シート)の出来栄などを評価し、それらを総合的に判断して成績を決定します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教材はすべてこちらで用意し、授業で使うレジュメや記事、資料もこちらで作成・印刷して、毎回、配布します。

5. 準備学修の内容

小論・課題の提出や英文の下調べなど準備学修も求められます。授業内でまとめるコメント(・シート)については、どこに問題があったかを振り返り、問題点を修正して次回作成に臨む必要があることは言うまでもありません。

6. その他履修上の注意事項

時事的な事象について詳しく説明したうえで、受講生との間で質疑応答を行います。積極的に参加して意見を述べる姿勢が求められます。国語と英語の辞書、あるいは電子辞書が必携です。専用のノートも1冊用意してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(論理的思考の定義、授業の進め方と目標、成績評価の方法、授業への準備、心構えなどの説明を受ける。この分野の教育に携わってきた人の考え方も学ぶ)。
- 【第2回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:新型コロナ・ウイルス感染拡大問題)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第3回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:コロナ感染をめぐるデマ拡散の問題)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第4回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:SNSによる非難・中傷と自殺の問題)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第5回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:SNSなどネット発信で小論課題作成)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第6回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:遠隔勤務の妨げ?となるハンコ文化)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第7回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:第5回授業課題の講評と読解力試験)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第8回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:スマホが大学が迫った信大長演説)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第9回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:スマホ演説めぐる是非論と小論作成)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第10回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:日米「ハーフ」のミス日本代表誕生)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第11回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:多過ぎる日本の祝日とその背景は?)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第12回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:ヘンだぞ「過剰反応社会」への対応)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第13回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:コンビニの24時間営業めぐる是非論)。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。
- 【第14回】 前期授業のおさらいと授業内テスト
- 【第15回】 LMSによるオンライン授業で、社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける。英文を日本語にしている確に表現する力も強化する。